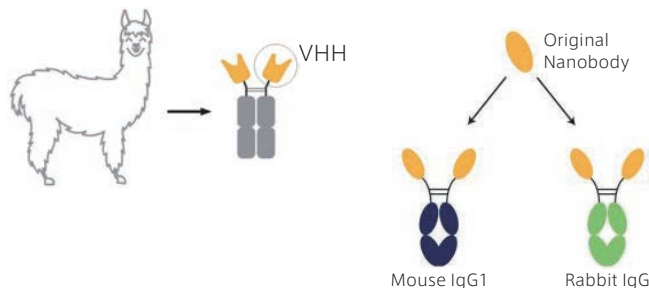


## アルパカ由来ナノボディを結合したキメラ組換え抗体

Absolute Antibody 社の抗体エンジニアリング技術によって、マウス IgG1 やウサギ IgG の Fc ドメインと抗体の可変領域の Nanobody (ナノボディ) を結合した二価抗体です。

### 特長

- アルパカなどのラクダ科動物はイムノグロブリンの軽鎖を欠いた重鎖抗体を有しており、その可変領域は VHH 抗体もしくはナノボディと呼ばれます。
- ナノボディに Fc ドメインを結合することにより、以下が可能になります。
  - ・二次抗体の豊富な選択肢
  - ・より多くの蛍光色素と結合
  - ・Protein A ピーズ、レジン、またはプレートへの固定化



[メーカー：ABA]

品名 [クローン名]	交差性	商品コード	包装	価格 (¥)
Anti-GFP [0253], Mouse IgG1-Fc fusion, His-Tagged	Aequorea victoria	Ab01637-1.9-C	200 µg	148,000
Anti-GFP [0253], Rabbit IgG-Fc fusion, His-Tagged		Ab01637-23.9-C	200 µg	148,000
Anti-mNeonGreen [0025], Mouse IgG1-Fc fusion, His-Tagged	Branchiostoma lanceolatum	Ab01638-1.9-C	200 µg	148,000
Anti-mNeonGreen [0025], Rabbit IgG-Fc fusion, His-Tagged		Ab01638-23.9-C	200 µg	148,000
Anti-TurboGFP [0138], Mouse IgG1-Fc fusion, His-Tagged	—	Ab01639-1.9-C	200 µg	148,000
Anti-TurboGFP [0138], Rabbit IgG-Fc fusion, His-Tagged		Ab01639-23.9-C	200 µg	148,000
Anti-Vimentin [1433], Mouse IgG1-Fc fusion, His-Tagged	Human, Dog, Rat	Ab01640-1.9-C	200 µg	148,000
Anti-Vimentin [1433], Rabbit IgG-Fc fusion, His-Tagged		Ab01640-23.9-C	200 µg	148,000

## ヒト化抗体 (組換え抗体) 作製受託サービス

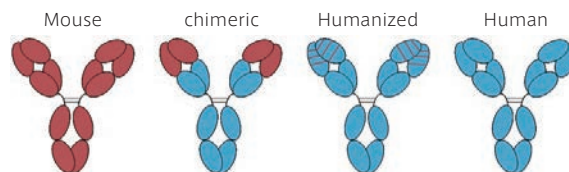
抗体の遺伝子情報を元に、ヒト化抗体を作製する受託サービスです。様々な改変を導入することも可能です。

### 特長

- 化学的に定義された哺乳動物細胞発現系を用い、血清フリー培地で発現させるので、アルブミンやウシ IgG の混入が無く、高純度 (>98%) です。
- 低エンドトキシン (<1 EU/mg) で、様々な *in vitro* / *in vivo* のアプリケーションに使用できます。

### ご注文方法

当社受託・特注品担当までお問い合わせ下さい。  
[メーカー：ABA]



ヒトキメラ抗体およびヒト化抗体への改変をロイヤリティフリーで行います。

### 対応可能な抗体の改変

- 抗体のヒト化 (完全ヒト化は対応不可)
- キメラ抗体の作製 (ヒト-マウスキメラ抗体など)
- アイソタイプの変換
- サブクラスの変更
- 抗体のフラグメント化 (scFV、Fab 抗体など)
- Fc ドメインの改変 (Fc Silent)